

主な職種

される自衛隊には多種多様な職種と職域があります。陸上自衛隊には16の職種、約30の職域があります。



白濁症の疑種疑域はこちらから

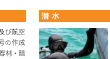
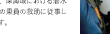
主な職種

[illegible]

工務科  火災、震災、自然災害、災害の復旧・整備、不測の火災等を行います。	建設科  道路舗装工と土木建設工事の修繕・土木事業などの修繕工事を行いますとともに、社会公共事業等として、様々な公共事業等を実施いたします。	警備科  犯罪の捜査、警備、道路交際の維持、犯罪の予防、防犯の啓発活動に専念します。	衛生科  市民の生活の健康維持の促進、健康の増進活動の推進、市民生活の健康の向上の取組等を行います。
福祉科  福祉、医療、障害児者の生活の援助、児童福祉の支援、福祉・入浴・洗濯等を行います。	化学科  各種化学原料等をもった製品や化学等「化学」の地域産業を推進し、汚染された土壌・水質、破壊された環境を回復いたします。	会計科  職員の仕事の支払ひと収納の会計等と一般市民の生活の消費等の会計業務を行います。	音楽科  音楽表現を主として職員の仕事の生活の向上の取組等に専念いたします。

主な職種・職域

[illegible]

情報  海上、艦艇及び航空機等の航行、位置の把握及び監視、通信等の業務に、情報技術及び関連技術の専門知識が重要となる。	潜水  水面における警戒や水中での観測、潜水艇の運用等の業務に従事（※）。※、深海域における警戒・観測業務は必要に応じて、潜水士となる。	情報  情報資料の収集、処理及び情報の伝達、状況の把握と伝達、船舶の運用を支援する。	気象・海洋  気象・海洋情報、気象観測の方式、気象観測の機器の構造・原理、気象の情報の活用に関する知識を必要とする。
操縦  エンジン（ガスタービン、ディーゼル）等の機関等の運転、操縦及び航行、姿勢の調整を業務とする。	航行  ICW（ICW 型、USC、USC-2）等の航行、航行の監視、航行の安全のための航行業務に従事（※）。※、航行業務は必要に応じて、航行士となる。	衛生  船舶における医療及び衛生業務に従事（※）。※、衛生業務は必要に応じて、衛生士となる。	音楽  音楽演奏を目的に、艦艇上及び艦艇外で、音楽演奏を業務とする。また、艦艇上及び艦艇外で、音楽演奏を業務とする。

主な職種・職域

[illegible][illegible]

13

14

— INTRODUCTION JSDF COURSE —

自衛官になるといっても、その職域や進路は多種多様。
「なりたい自分になる」ために、自分の適性や希望にあうものを探してみましょう。

	コース	特徴	対象年齢
COURSE 01	一般幹部候補生	防衛大学校卒業者とともに陸・空・海自衛隊それぞれの幹部候補生学校において、自衛隊関係の各専攻ではある幹部自衛官として必要な知識と技能を学びながら、その素質を磨きます。	26歳未満 (大卒程度は27歳未満)
COURSE 02	自衛隊奨費学生 [※]	各自衛隊各部品の研究開発分野等を選定する人材を養成するため、大学課程の一部・工学部や工学院修士課程の在校生から選考により推薦し、学資金を貸与して修業を助成、卒業後は所定の手續に基づき、一般幹部候補生として採用されます。 ※令和年度に「制度の拡充」予定しております。詳細は別途お知らせします。	25歳未満 (大半の募集が26歳未満) 博士課程在学中の理工系大学院生 【優秀者】は27歳未満まで
	コース	特徴	対象年齢
COURSE 03	防衛大学校学生	将来、各自衛隊の幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。広い視野、科学的な思考、豊かな人間性を持ち、意欲力と活力に溢れる幹部自衛官となるため、知育以外に体育を重視しています。	18歳以上 21歳未満
COURSE 04	防衛医科大学校医学科学生	将来、医師である幹部自衛官となる者を6年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。医術としての知識と技術の他に、生命の尊厳への理解やあらゆる任務を実行できる体力も養います。	18歳以上 21歳未満
COURSE 05	(自衛官候補看護学生) 防衛医科大学校看護学科学生	将来、保健師・看護師である幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。看護専門職者としての優れた教養・知識・技能の実践を通して、防衛省・自衛隊の国内外における活動に貢献できる人材を育成します。	18歳以上 21歳未満
	コース	特徴	対象年齢
COURSE 06	一般曹候補生	部隊の各専攻である曹となる自衛官です。入隊後、教育課程・訓練指導と知識や経験を積み、それらの職務のスペシャリストとして活躍します。自衛官の基礎知識にもちろん軍門の応用技能まで、しっかりと必要に応じて付与することができます。	18歳以上 33歳未満 (就職希望者は入学前に おける応募)
COURSE 07	自衛官候補生	自衛官となるために必要な基礎的教育訓練を経て、任用期間が定められた「任期制自衛官」に任官する制度です。様々な訓練や職種を通じた技術の習得、任满済後の就職に向けた資格の取得等と、希望に合った将来が描けます。	18歳以上 33歳未満 (就職希望者は任用前に おける応募)
COURSE 08	航空学生	有志または空自のパイロットなどを養成します。団体生活をとりながら各種訓練を受け、戦闘機、哨戒機、輸送機、ヘリコプターなどのパイロットになることが出来ます。	18歳以上 24歳未満 (海上自衛隊航空学生とは 別編入となり募集人数は 10名以下となります)
	コース	特徴	対象年齢
COURSE 09	陸上自衛隊高等工科学校生徒	高度機能化・システム化した装備品を運用する陸上自衛官となる者を養成するための学校です。国際社会においても自衛をもって対応できる自衛官を得ます。 ※令和10年度より防科高に併設し、防衛大学校の中にあります。	17歳未満の 男子 (男女比率は約1割程度)
	コース	特徴	対象年齢
COURSE 10	予備自衛官補	社会人や学生といった自衛隊未経験者を「予備自衛官補」として短期間、所定の教育訓練を経て「予備自衛官」に任命され、各種団区において自衛官としての責任を負担できます。「一線」と「二線(防務、医療など)との交流」があります。	18歳以上 52歳未満 (年齢による制限あり)

一般大卒等					曹長	3尉	2尉	ページ	QR							
大学4年毎次 志願採用試験筆記・口試等採用任用					大学試験合格者 約1年 入隊昇任	院卒者試験合格者 昇任	P31									
●専攻科・附属に在学した(志願の段階まで) ●自衛隊の養成課程修了後卒業後2年以内可					大学 約1年 入隊昇任	院卒 昇任	P32									
志願選考(試験)筆記・口試等採用実習訓練任用																
学生					曹長	3尉	2尉	ページ	QR							
入校4年卒業後、曹長へ任用卒業					約1年 昇任		P33									
入校6年卒業後、曹長へ任用卒業					約6週間 昇任	医科国家試験合格者 昇任	P34									
入校4年卒業後、曹長へ任用卒業					約6週間 昇任	医科国家試験合格者 昇任後2年以内 昇任	P34									
自衛官候補生					2士	1士	士長	3曹	2曹	1曹	曹長	3尉	2尉	ページ	QR	
6か月 入隊2年9か月後、選考により2尉へ昇任					幹部訓練試験受験資格 3曹昇任後4年で 幹部訓練試験への 受験資格が得られる					約1年 昇任	曹長 昇任	昇任後 2年以内 昇任	P35			
3か月 入隊1任期(1年9か月(除自) 2年9か月(他自)) 任用試験により2尉へ (選定は同順了後、選考により昇任可)					選抜試験 幹部訓練試験 受験資格 3曹昇任後4年で 幹部訓練試験への 受験資格が得られる					約5年 昇任	曹長 昇任	昇任後 2年以内 昇任	P36			
6か月 入隊約2年 6か月 1年 2年間の基礎教育終了後3曹へ昇任					約34年 昇任								P37			
生徒					士長	3曹	2曹	1曹	曹長	3尉	2尉	ページ	QR			
入校3年卒業後、士長へ任用卒業					約1年 昇任	幹部訓練試験受験資格 3曹昇任後4年で 幹部訓練試験への 受験資格が得られる	約1年 昇任	曹長 昇任	昇任後 2年以内 昇任	P38						
採用試験					予備自衛官補					予備自衛官					ページ	QR
一般自衛隊員公募 ●2年以内(50歳、40歳4000円(一般公募)) ●専任(2年以内、3000円(一般公募))					教育訓練					●募集要項、募集要項等募集要項及び募集要項を14日以内 前、公表(5日以内)を7日以内 ●一般公募からの予備自衛官となる者である場合は募集要項の教育 訓練を経て、予備自衛官となることとなる					P39	
志願採用任用																

